

# 組合の東日本大震災の被災地支援

去る3月11日に発生した「東日本大震災」は、地震の被害に加えて、未だかつて経験したことのない大津波が押し寄せ大惨事となりました。さらに、東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故は、今だに収束せず、福島はもとより、周辺地域への被害が今なお拡大しており日本の産業全体にダメージを与えました。

このような中、本県の組合でも様々な支援活動を実施しておりますのでご紹介いたします。

## 上山温泉利用協同組合

福島原発事故による被災者の方々に対し、温泉利用組合傘下の旅館において日替り、旅館替りでマイクロバス送迎による無料でお風呂を提供した。市内7ヶ所の共同浴場において無料入浴券を配布するとともに旅館組合、青年部、女将会による炊き出しを実施した。

## 山形市管工事協同組合

3月11日に山形市より要請があり、給水活動、配管の復旧に着手し、15日までには普及した。

災害復旧応援協定を締結している日本水道協会山形県支部からの応援要請により宮城県岩沼市に派遣し、地震で漏水している大口径水道本管の復旧工事を実施した。また、石巻市に給水班を派遣、4月7日の余震後は、夜中に給水班を編制し、山形市内の断水に対応した。



水道本管復旧作業

## 協同組合山形給食センター

東松島市役所の方に3,000から4,000個のお弁当を提供した。山形市スポーツセンター内に朝・昼・夕と、約500個を1日3回と、県体育館に朝・昼・夕、50人分前後毎日提供した。また、3月12日より3月25日まで宮城県警察本部に、2日に1度おにぎり6,000個配達した。

## 山形県板金工業組合

東北ブロック支援のため、組合からブルーシート200枚を支援物資として送付した。

## 中通り商店街振興組合

全国の商店街のある地域が、災害を受けた時に被災した商店街を盛り上げようと組織した「ぼうさい朝市ネットワーク」を活用して、岩手県南三陸町へ支援した。本ネットワークは、全国各地の商店街をネットワーク化し、平時はイベントで、各地の特産物を販売し、同時に災害を想定した防災セミナー防災訓練を実施している。いざという時は、混乱を起こす被災地に対し「災害時の隣から支援」方式を採用。

このたびの東日本大震災では、当組合が支援基地となり全国からの救援物資を受け入れ、仕分してから南三陸町へトラックを派遣する方法で実施した。



そばの炊き出し

## 山形県環境整備事業協同組合

山形県と交わした「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、県からの要請を受け、3月15日、16日、19日の3日間、宮城県多賀城市の自衛隊駐屯地の避難所の仮設トイレからの収集を実施し、東根市のクリーンピア共立への運搬支援活動を行った。

また、岩手県からの要請により、3月28日から4月2日までの6日間、大船渡、陸前高田地区の稼働不能になった処理施設から、岩手県内の稼働している処理施設への運搬支援活動を行った。